「健康寿命の延伸につながる食育の推進」関連施策(各府省庁別)

【凡例:表中の略称について】

担当省庁	3次計画の 関係項目 <mark>※1</mark>	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 御指摘ポイント※3
農林水産省	食育推進運動	「食育推進ボランティ ア表彰」及び「食育 活動表彰」の実施	しがちであること等を踏まえ、他の地域においても参考となり得るような若い世代の食生活の改善を対象としたボランティアについて、「食育推進ボランティア表彰」を実施。 ・29年度からは国民運動として食育を推進していくため教育関係者、農林漁業者、食品関連事業者、ボランティア等の民間等の食育関係者に対象を拡大した「食育活動表彰」を開始し、「健康寿命の延伸につながる食育」等に関する事例を募集。※2	・・食育推進ボランティア表彰受賞団体(者)に対し、6月の食育 推進全国大会において大臣から10件の表彰を行った。受賞者 によるシンポジウムでの事例発表、事例集の作成・ホームペー	(14)健康寿命延伸 活動表彰による食 育の推進

- ※1 この欄の略称は、以下の第3次計画の箇所との関係を示しています
 - ・家庭食育 →「第3 1. 家庭における食育の推進」に該当するもの
 - ・地域食育 →「第3 3. 地域における食育の推進」に該当するもの
 - ・食育推進運動 →「第3 4 食育推進運動の展開」に該当するもの
 - ·その他 →上記のいずれにも当てはまらないもの。
- ※2 重点課題「健康寿命の延伸につながる食育の推進」を踏まえ、第3次計画策定後、新たに実施することとした点については、アンダーラインで示しています
- ※3 平成29年3月29日の食育推進評価専門委員会においてご提出いただいた「第3次食育推進基本計画の5つの重点課題」について議論していくべきと思われる「視点・ポイント」のうち「健康寿命の延伸につながる食育の推進」に対するもの(別紙1-5参照)

消費者庁

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
消費者庁	地域食育		・平成27年度から新たに義務化された栄養成分表示に関する消費者教育を推進するため、効果的な	【平成28年度】 ・栄養成分表示及び保健機能食品に関する消費者教育媒体を作成した。また、その媒体を用いて消費者教育を行う実践者(管理栄養士、栄養教諭、家庭科教員等)が、適切に活用するためのポイントや方法、効果的な普及啓発の在り方についてまとめた解説書を作成した。	(5)加工食品の 栄養表示に関す
	<i>- - - - - - - - - -</i>	る消費者教育	普及啓発の在り方や教育プログラムの検討を行っている。	【平成29年度】 ・平成28年度に作成した教育媒体(パンフレット及び解説書)を用いた、地域に密着した教育プログラムを企画・実施・評価することを目的とした調査事業を実施中。	る普及啓発
				【平成30年度】 ·実施予定	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
内閣府食品				【平成28年度】 ・関係府省が連携し、リスクコミュニケーションを全国で実施。(計 14回)	
安全委員会 消費者庁 厚生労働省		食品安全に関する情報提供や意見交換会の実施	・関係府省が連携し、食品安全に関する正確な情報提供等を通じたリスクコミュニケーションを実施。	【平成29年度】 ・関係府省が連携し、リスクコミュニケーションを全国で実施。(計 11回予定)	
農林水産省				【平成30年度】 実施予定	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
内安消費者 附安等工作 内安消費 中 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	Z.O.W.	親子参加型イベントの開催	・関係府省と連携し、多くの子供たちと保護者が来場する夏 休み期間中のイベント会場にブースを設け、食品中の放射 性物質を中心に、食の安全等の理解の増進に資するリスク コミュニケーションを実施。	・関係府省と連携し小学生やその保護者を対象として、「何ができるか考えよう!親子で学ぶ、食と暮らしの安全」をテーマに、生活に直結する食品安全や暮らしの安全についてのミニセミナー、ポスター展示、ワークショップ(すごろく作り)等を実施。また、各会場にて、食品に関するリスクコミュニケーション「知ろう!考えよう!親子で学ぶ、食品中の放射性物質」も実施。(宮城県、東京都及び大阪府でそれぞれ開催) <実績>・来場者数約2,000名(ミニセミナー・ワークショップ・ステージ)・うち、ミニセミナー・ステージ来場者数約600名	
				【平成30年度】 実施予定	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
		事業者と連携する等		【平成28年度】 ・地方公共団体・大学生協と連携し、大学生を対象に大手製粉会社の協力の下、工場見学という手法を通じ事業者の食品安全への取組に対する理解を深めるとともに、有識者、事業者、行政及び大学生による双方向の意見交換によるリスクコミュニケーションを実施。(兵庫県で開催)	
消費者庁	その他	の多様な主体による 食品安全に関するリ スクコミュニケーション	行う消費者への理解促進に関する取組と連携し、大学生等若い世代を含め、様々な年齢層を対象としたリスクコミュニケーションを実施。	【平成29年度】 ・大学生協と連携し、大学生を対象に大手製粉会社の協力の下、工場見学及び意見交換によるリスクコミュニケーションを実施。(神奈川県で9月下旬に開催)・消費者団体と連携し、消費者団体の会員を対象に大手製粉会社の協力の下、工場見学及び意見交換によるリスクコミュニケーションを実施予定。(12月中旬開催予定)	
				【平成30年度】 実施予定	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
				【平成28年度】 ・食品安全に関するリスクコミュニケーションを、地方公共団体等と連携して実施。(計109回実施) ・うち、食品中の放射性物質をテーマに、福島県等と連携し県内の小・中学校等を会場に、児童・生徒及び保護者等を対象に実施。(福島県内17箇所で開催)	
消費者庁	その他	報提供や意見交換会	た。 で、様々な年齢層を対象に実施。	【平成29年度】 平成28年度と同様に実施 ・食品安全に関するリスクコミュニケーションは、11月末まで、65 回実施。 ・うち、児童・生徒及び保護者等を対象に実施したものは、11月 末まで、福島県内12箇所で開催。	
				【平成30年度】 実施予定	

文部科学省

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
				【平成28年度】 ・平成28年12月に日本食品標準成分表2015年版(七訂)追補2016年を公表し、新規食品31食品を含む45食品を分析し、データを収載した。	
文部科学省	その他	日本食品標準成分表 の策定・公表	・食品成分に関する唯一の公的な基礎データである「日本食品標準成分表」について、食品数の充実やそのデータベースを改善を進めている。 (平成28年度予算額 7.6百万円) (平成29年度予算額 7.6百万円) (平成30年度概算要求額 7.6百万円)	【平成29年度】 ・平成29年12月頃に日本食品標準成分表2015年版(七 訂)追補2017年を公表するよう対応。	(3)食塩摂取状況の現状についての理解促進(6)減塩・低カロリー食普及への調理師等の協力
				【平成30年度】 ・平成30年12月頃に日本食品標準成分表2015年版(七 訂)追補2018年を公表する予定。	

厚生労働省

	担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
厚	望生労働省	地域食育	糖尿病予防戦略事業	・糖尿病の発症予防及び重症化予防に向けて、 「糖尿病予防戦略事業」を実施している。	【平成28年度】 【平成29年度】 ・自治体において、地域特性を踏まえた糖尿病予防対策や飲食店、食品関連企業等と連携した、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を入手しやすい食環境づくりの推進に関する事業を自治体で実施している。 (平成28年度)49自治体が実施。 (平成29年度)41自治体が実施。	(9)自治体・企業 等連携への国からの支援 (10)食育と運動促 進の連携

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
厚生労働省	地域食育	健康日本21(第二 次)の推進	・健康日本21(第二次)において「食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数の増加」を目標として掲げ、普及啓発を図って	【平成28年度】 【平成29年度】 ・食生活改善普及運動(9月)において、テーマの一つとして「食塩摂取量の減少」を設定し、「おいしく減塩1日マイナス2g」の普及啓発ツールを作成しスマート・ライフ・プロジェクトのウェブサイトで提供するとともに、自治体や企業の取組事例を紹介している。平成30年度も引き続き、実施を予定している。	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
厚生労働省	地域食育	健康日本21(第二 次)の推進	・行政栄養士の業務指針(平成25年3月)により、行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の一層の推進を図っている。	【平成28年度】 ・都道府県等で栄養施策を担当している職員を対象に、栄養・食生活に関する情報提供等を行うための会議を開催した。また、「行政栄養士の人材育成ビジョンを考えるための参考資料」を作成し、自治体に情報提供を行った。 【平成29年度】 ・都道府県等で栄養施策を担当している職員を対象に、栄養・食生活に関する情報を提供するための会議を開催した。また、市町村の行政栄養士を対象に、人材育成に関するセミナーを開催した。	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
厚生労働省	地域食育	8020運動·口腔保健 推進事業	・「8020運動」や「噛ミング30」の推進も含めた歯科口腔保健の推進のため、「8020運動・口腔保健推進事業」において都道府県における取組の支援を行っている。その中で、噛み応えのある料理などを用いた噛むことの大切さの教育や、食生活を支える歯・口腔の健康づくりについての講習会など、食育に関わる事業も実施している。	【平成28年度】 ・「8020運動・口腔保健推進事業」において、都道府県における取組の支援を行った。都道府県の取組において普及啓発を目的とした高齢者の「歯・口の満足度」の調査や、口腔機能向上のための人材育成を目的とした研修会などを開催している。 【平成29年度】 ・「8020運動・口腔保健推進事業」において、都道府県における取組の支援を行っている。 【平成30年度】 ・「8020運動・口腔保健推進事業」において、都道府県における取組の支援を継続予定。	(15)高齢者の口 腔機能低下予防

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
厚生労働省			・配食を利用する高齢者等が適切な栄養管理を行えるよう、地域高齢者の健康支援を推進する配食に係る栄養管理の在り方について検討。	【平成28年度】 ・配食事業者における栄養管理体制等の在り方を検討するために「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理の在り方検討会」を立ち上げ、その中でガイドラインを策定した。 【平成29年度】 ・ガイドラインを踏まえた配食サービスの利活用の促進に向けて、配食事業者向けと配食利用者向けの支援ツールを作成し、その支援ツールを広く公表する仕組みを整備する。	

担当省	庁 3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
厚生労働	省 地域食育	栄養ケア活動支援整備事業	・増大する在宅療養者に対する食事・栄養支援に対応するため管理栄養士・栄養士の人材を確保できるよう、公益法人等民間の取組の促進・整備を行っている。	【平成28年度】 ・医療機関、地域包括支援センター、薬局と連携した取組や、訪問看護ステーションを活用した取組等を6団体が実施した。 【平成29年度】 ・地域における栄養ケアサービスの実践プログラムの作成と全国の栄養ケア体制強化、地域包括ケアシステムの推進に向けたICTシステムを活用した在宅栄養ケアに関する取組等を4団体が実施している。	(9)自治体・企業等連携への国からの支援

	担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
ı	享生労働省	合套推准雷動	— · · · / L · · · · · · · · · · · · · · ·		【平成28年度】 ・「第5回 健康寿命をのばそう!アワード」を実施し、生活習慣病予防分野で、18の企業、団体、地方公共団体に表彰を行い、事例集の作成・ホームページへの掲載により情報発信を行った。 【平成29年度】 ・「第6回 健康寿命をのばそう!アワード」を実施し、生活習慣病予防分野で、18の企業、団体、地方公共団体に表彰を行った。事例集の作成・ホームページへの掲載により情報発信を行う予定である。	(14)健康寿命延 伸活動表彰によ る食育の推進

農林水産省

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
本如利兰小			基本法の制定、「健康日本21(第二次)」の開始、「相食;日 本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産登録、第		
文部科学省· 厚生労働省· 農林水産省	地域食育	「食生活指針」の改 定、普及啓発	3次食育推進基本計画の作成等、近年の「食」をめぐる動きを踏まえて、平成28年6月に文部科学省、厚生労働省、農林水産省で「食生活指針」を改定し、都道府県等への通知やホームページでの掲載、健康づくりを推進する観点から普及啓発用スライドを作成する等、食生活改善のための普及啓発を行っている。	【平成29年度】 ・「「食生活指針」改定ポイント」の英訳版を作成し、「食生活指針」や「食生活指針の解説要領」とともに、ホームページに掲載する等、普及啓発を実施。 ・「食育月間」実施要綱に改定された食衣生活指針の普及啓発を明記し、食育月間を実施。	
				【平成30年度】 ·実施予定	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
				【平成28年度】 ・農林水産省・厚生労働省のホームページにおいて情報提供。・保健所や保健センターの健康づくりに関する事業等において教材として活用。・地方農政局等において、食育に関するイベント等を実施し、「食事バランスガイド」の活用のための講座や、地域の特性を盛り込んだ「地域版食事バランスガイド」の紹介等を実施。	
厚生労働省・ 農林水産省	地域食育	「食事バランスガイド」 の普及啓発	「食事バランスガイド」の普及・活用を図るため、ホームペー ジや食育に関する行事等において情報提供を行う。	【平成29年度】 ・農林水産省・厚生労働省のホームページにおいて情報提供。・保健所や保健センターの健康づくりに関する事業等において教材として活用。・地方農政局等において、食育に関するイベント等を実施し、「食事バランスガイド」の活用のための講座や、地域の特性を盛り込んだ「地域版食事バランスガイド」の紹介等を実施。・平成28年度食育白書において、「食事バランスガイド」に沿った食事の人ほど、脳血管疾患等による死亡のリスクが低いという研究結果をコラムとして紹介。	
				【平成30年度】 実施予定。	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
農林水産省	食育推進運動	「食育月間」の実施	・「食育月間」実施要綱により、農林水産省をはじめ関係省 庁が協力しつつ地方公共団体、関係機関・団体に対しても 参加を呼びかけ、健康寿命の延伸につながる健全な食生	【平成28年度】 ・第3次食育推進基本計画の重点課題に「健康寿命の延伸につながる食育の推進」が設けられたことを受け、「食育月間」実施要綱に「健康寿命の延伸につながる健全な食生活の実践促進」を明記し、食育月間を実施。 ・食育月間中の全国規模の中核的行時として、6月11日、12日に福島県郡山市において第11回食育推進全国大会を開催。大会にて第3次食育推進基本計画関係資料を配布し計画を普及啓発。 〈実績〉 ・来場者数26,200人 【平成29年度】 ・第3次食育推進基本計画の重点課題に「健康寿命の延伸につながる食育の推進」が設けられたことを受け、「食育月間」実施	
			活の実践促進を含め全国的な食育推進運動を展開	要綱において「健康寿命の延伸につながる健全な食生活の実践 促進」を明記するとともに、地域における関係者の連携・協働の ため、都道府県・市町村食育推進計画の地域関係者・住民の共 有化を追記し、食育月間を実施。 ・食育月間中の全国規模の中核的行時として、6月30日、7月1日 に岡山県岡山市において第12回食育推進全国大会を開催。大 会にて第3次食育推進基本計画のパンフレットを配布し計画を普 及啓発 〈実績〉 ・来場者数21,200人	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
農林水産省	食育推進運動	施	・国民運動として食育を推進していくため教育関係者、農林漁業者、食品関連事業者、ボランティア等の民間等の食育関係者に対象を拡大した「食育活動表彰」を開始し、「健康		(14)健康寿命延 伸活動表彰によ る食育の推進
			<u>寿命の延伸につながる食育を推進する活動」を募集。</u>	【平成30年度】 ·実施予定	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
			【平成28年度:地域食文化魅力再発見食育推進事業】・地域の関係者が一体となって取り組む、地域における食育活動を企画・調整する専門的人材の育成や、食育を通じて地域の食の普及を図る展示会・交流会・調理体験等の実施を支援。 (平成28年度予算額 109百万円)	【平成28年度】 ・日本型食生活や郷土・伝統食を普及啓発するための食育イベントや調理体験等を開催。 ・地域において食育を推進するリーダーを育成する講座を開催。	
農林水産省	地域食育	日本型食生活の普及等の地域における食育活動の支援	【平成29年度:地域の魅力再発見食育推進事業】・地域の関係者が連携して取り組む、地域食文化の継承、和食給食の普及、共食機会の提供、農林漁業体験機会の提供、地域で食育を推進するリーダーの育成等の食育活動を支援。 (平成29年度予算額 280百万円)	啓発するための食育イベントや調理体験等を開催。	(9)自治体・企業等連 携への国からの支 援
			【平成30年度:食料産業・6次産業化交付金】・地域の関係者が連携して取り組む、地域食文化の継承、和食給食の普及、共食機会の提供、農林漁業体験機会の提供、地域で食育を推進するリーダーの育成等の食育活動を支援。 (平成30年度概算要求額 2,719百万円の内数)	【平成30年度】 ·実施予定	

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
農林水産省	地域食育	機能性農産物を活用した健康都市づくりの支援	・地域の長度物等の機能性に着自しく健康関連の長市場を開拓するため、食による健康都市づくりに関する地域の取組を支援。 (平成28年度予算額 86百万円)	【平成28年度、29年度】 ・自治体やJA、大学、メーカー、小売り事業者等産学官の連携体制の構築。 ・地域の機能性農産物を活用したメニュー・商品開発等の実施。 ・開発したメニュー・商品を活用した喫食試験により、健康効果を測定。 ・開発したメニュー・商品が地域の飲食店等で活用される仕組みの構築、地域住民への普及啓発。 (28年度は5地区、29年度は7地区で実施。)	(11)食品業界・医療 等各分野の連携強 化

担当省庁	3次計画の 関係項目	取組の名称	取組の内容(予算額等)	取組の実績	関連する委員 指摘ポイント
			【平成28年度:6次産業化ネットワーク活動推進交付金のうち地域ぐるみでの6次産業化の支援】 ・6次産業化戦略・構想に沿って行う地域ぐるみの6次産業化の取組の一環として、地場産スマイルケア食の商品開発・普及の取組等を支援。 (平成28年度予算額 1,223(813)百万円の内数) 【平成28年度:6次産業化サポート事業のうち地場産食材を活用した栄養改善等の取組の推進】・全国の地場産スマイルケア食の開発・普及に関する優良事例収集やリーダー育成のための研修会の開催、スマイルケア食の普及状況等を把握するためのアンケート調査実施に要する経費等を支援。 (平成28年度予算額 34(-)百万円)	【平成28年度】 ・地場産農林水産物等を活用した介護食品を開発。 ・全国の食品製造業者・販売業者・介護従事者・管理栄養士・自治体などを対象に、「スマイルケア食」の普及・推進をするために優良事例を調査するとともに、関係者への研修会や展示会を実施。 (優良事例5件、研修会等15回)	
農林水産省	地域食育		【平成29年度:6次産業化ネットワーク活動推進交付金のうち地域ぐるみでの6次産業化の支援】・市町村の6次産業化戦略に沿って行う地域ぐるみの6次産業化の取組の一環として、地場産スマイルケア食の商品開発や配食サービス等の実証、スマイルケア食普及のためのセミナー開催等を行う場合に必要な経費を支援。(平成29年度予算額 898(1,223)百万円) 【平成29年度:6次産業化サポート事業のうちスマイルケア食の普及推進】・スマイルケア食の商品開発・普及をより一層推進するため、医師、歯科医師など、指導的な立場からスマイルケア食の普及に関して特に影響を与える関係者やケアマネージャー、ヘルパーなど在宅介護や病院・介護施設等で介護を実践する関係者に対する研修会の開催とともに、教育ツールの作成を支援。(平成29年度予算額 14(34)百万円)	【平成29年度】 ・医師、歯科医師や栄養士、ケアマネージャー向けの普及ツール(パンフレット、説明資料、動画等)を作成。 ・上記普及ツールを活用して関係者に対する研修会	(13)低栄養防止等 に向けたスマイルケ ア食等の普及啓発
			【平成30年度:食料産業・6次産業化推進交付金】 ・市町村区域の食品事業者、介護関係者等が連携して地場産 農林水産物等を活用したスマイルケア食(新しい介護食品)の 開発や配食サービスの実証などの取組を支援。 (平成30年度概算要求額 668(742)百万円の内数)	【平成30年度】 ·実施予定	